

テアトル9ニュース

お芝居大好き！九条の会
2017年3月26日 第76号

共謀罪創設を必ず止めましょう！！

皆さん、共謀罪法案の国会への提出が迫っています。3月21日、政府は、共謀罪法案を閣議決定しました。具体的には「**組織的犯罪処罰法**」という法律の改正案が提出されたのですが、この改正案においては、「**組織的犯罪集団**」が犯罪を計画し、実行に向けた「**準備行為**」があったときに処罰されることになります。実は、共謀罪創設は過去にも目論まれましたが、3度にわたり廃案となってきました。私たちには、そもそも、思想良心の自由（心の中で思うことや頭で考えることについては自由）が保障されているので、その自由を制限することは許されないからです。また、戦時中、治安維持法などの法律により市民が国家に反する考えを持っただけで処罰、話し合っただけで処罰ということが多発し、多くの市民が弾圧されたことへの反省があるからです。

共謀罪の創設は建前上の理由としては、「テロ等の組織的犯罪を事前に取り締まるため」といわれています。しかし、官房長官の「市民は関係ない。」という言葉はまやかしに過ぎません。法律上「市民には適用されない」という制限はないので、濫用の可能性はぬぐえません。

皆さん、共謀罪について自ら勉強し、急ピッチで周囲にその危険性を広めましょう。

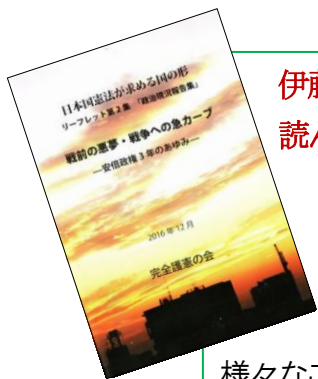
(ポリジ 坂本知可)

“ポスト真実”と「ザ・空気」

英国のEU離脱にトランプ現象、そして、安倍首相の「福島はコントロールされている」等々、真実が二の次になっている“ポスト真実”。森友学園や稲田防衛大臣の問題などのポスト真实现象に、マスメディアの自己規制など恐ろしい方向に日本は突き進んでいる。こんな時代だからこそ、真実とリアルな言葉の芸術、演劇の役割は大変大きい。豊かで柔らかい感性、鋭く正しく物事を見抜く理性が養われる。そんな折、「ザ・空気」(永井愛作・演出)を観た。

大手テレビ局の上層部からの突然の内容の一部変更の圧力に向き合う放送人。マスメディアを通して今日の日本に真正面から向き合った舞台だ。満席の客席は緊張感に溢れ、熱く静かなラストの拍手は観客も真正面から今日の日本に向き合っていた。私たちは、どんな演劇を例会にするのか、鑑賞運動をしていくのか、熱く広く大勢で議論しよう。きっと、それが総会で提示された“理念”につながるだろう。

(ちかまつ 米田哲夫)



伊藤昌博さん(調布九条の会)から本が送られてきましたので、紹介させていただきます。読んでみたいと思われる方はテアトル世話人に声をかけてください。

戦前の悪夢・戦争への急カーブ—安倍政権3年のあゆみ—

完全護憲の会共同代表 岡部太郎(元東京新聞政治部長)

今年になっても、トランプ騒動や金正男事件、築地移転に森友問題、次々と事件が起きて、様々なことが忘れ去られてゆきます。第二次安倍内閣が発足してから3年と少々、2013 12月の「特定機密保護法の成立」、14年6月に「集団的自衛権の閣議決定」、15年9月19日「集団的自衛権の安保法制成立」、16年1月年頭に改憲発言、7月の参院選で自民圧勝2/3勢力で改憲可能に、今年に入ると「共謀罪」、次々と発せられる「自由と民主主義への圧迫」。読みながら、私もまた忘れやすい日本人、思い出しながら怒りが沸き起こってきました。この国の指導者たちが何を狙っているのか、安倍政権3年間の政治の現状報告です。是非一読下さい。原価300円 (ハーモニー 広沢正雄)



去る2月7日、幸運にも！文化座創立75周年記念公演第1弾として東京芸術劇場で上演された『命どう宝』を観る機会を得ました。

きっかけは昨年11月例会『銀の滴降る降るまわりに 首里1945』の会場であたま見かけた、このお芝居のポスターでした。昨夏、沖縄の「不屈館」を見学し、瀬長亀次郎という政治家に興味を持っていたこと、11月例会の運営サークルに参加していたこともあり、「ぜひ観てみたい！」と。

戦後、米軍の占領統治下の沖縄で基地返還運動・祖国復帰運動の先頭に立った阿波根昌鴻と瀬長亀次郎を中心にしながら民衆の苦悩と不屈の闘いを描いた『命どう宝』。ふたりの実際の言葉を紡いで綴られた舞台は、そのセリフのひとつひとつがズンズンと胸に迫り、涙をこらえることができませんでした。今の辺野古・高江の闘いと重ね合わせながら、その

原点はここにあり、連綿と繋がっていること、この闘いを沖縄だけのことに終わらせないために、私たちにできること、しなければならぬことを思いました。

そして、文化座がこの『命どう宝』を含めて全9作品で沖縄を描き、その歩みの中で沖縄の人々に心を寄せ続けてきたことを知りました。

私の中の「沖縄」の新たな1ページとなったこのお芝居、いつの日かまた神戸で再会できたら・・・多くの人に観て知ってほしい・・・想いはこれからは繋がっています。

すべて剣をとる者は 剣にて亡ぶ (聖書)

基地をもつ国は 基地で亡び

核を持つ国は 核で亡ぶ (歴史)

—劇中より—

(ミント 萩原淳子)

本の紹介

『車のいろは空のいろ白いぼうし』

作 あまんきみこ 絵 北田卓史 出版社 ポプラポケット文庫

『車のいろは空のいろ白いぼうし』は短編集で、8作品が収められている。タクシー運転手の松井さんが、乗客のさまざまな姿を見つめ、そこに人生を感じさせます。8作品の中で特にお薦めは「すすかけ通り三丁目」。気取りのない、てらいのない文章に一気に引き込まれる。全体にベールに包まれた雰囲気と、推理小説を感じさせ、物語の中に読者を誘い込む手腕は見事である。

ある日、松井さんは駅前から「すすかけ通り三丁目まで」と言う婦人を乗せた。長年のタクシー運転手の経験がある松井さんだがその地名は知らなかった。婦人はタクシーを待たせ、しばらくすると戻ってきた。戻りの車中でその婦人が話したのは、まさに戦争の傷跡が生々しい話。そして、タクシーを降りる時、料金を手渡した手はしわだらけ。子どもたちと過ごした楽しい時間、その時間を断ち切った戦争。婦人の手のしわで戦争を見事に表現した描写に胸を打った。

一度は読んで欲しい本。しみじみと胸に残る物語。

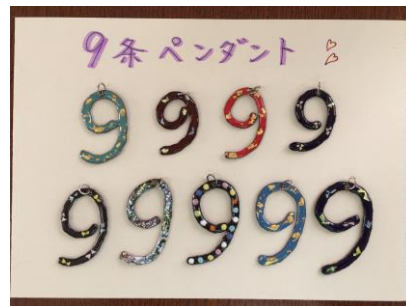
(エバレット 小谷博子)

いつもカンパのご協力をありがとうございます!

第74号のニュースで紹介しました「七宝焼き」の「9条ペンダント」が好評で、12月と2月の2例会で9個も買って頂きました!

手作りなので作成に時間がかかりますが、さりげなく、ペンダントで9条をアピール出来たら・・・との思いで作っています。

缶バッチも準備していますので、引き続きご協力を宜しくお願い致します!



お芝居大好き! 九条の会~テアトル9 って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き! 九条の会~テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか? 下記世話人までご連絡を。

児玉 090-8209-2391 米田 090-8658-8579
谷中 090-2101-4579 田中 090-8493-3378

例会場「テアトル9コーナー」に
お立ち寄りください!

